

家庭学習の手引き



すべての子どもたちが、夢や希望をもって人生や未来を切りひらき、心豊かにたくましく成長していくことがわたしたちの願いです。このたび、奈良県教育委員会では、目標をもって自ら学習に取り組み、確かな学力を身につけ、課題を発見・解決できる子どもを育てるため、学年段階に応じた家庭での働きかけや取組などをまとめたリーフレット「家庭学習の手引き」を作成しました。

手引きには、家庭で取り組める学習内容や学習時間のめやすのほか、家庭で大切にしたいポイント、子どもを理解し支えるためのヒントやアドバイスなども取り上げています。家庭での学習や生活について、子どもと保護者のみなさまが話し合い、家庭での学習習慣の形成のためにこの手引きを役立てていただければ幸いです。

あいさつができる奈良の子どもに 「いつでも、どこでも、だれとでも！」

あいさつは心と心をつなぐリボン。自分とまわりの人の心をむすんでくれます。

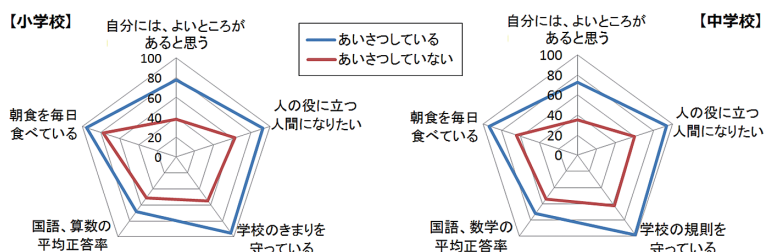
一日の最初の言葉は家族とのあいさつ。一日の最後の言葉も家族とのあいさつ。「おはよう」「おやすみ」でつながる心は、きっとこれからの社会を生きる「しなやかな心」の土台となっていきます。

「ありがとう」「こんにちは」「よろしく」。すてきなあいさつで、いつでも、どこでも、だれとでも、心と心をつなぐしなやかな心をもつ奈良の子どもを育てましょう。

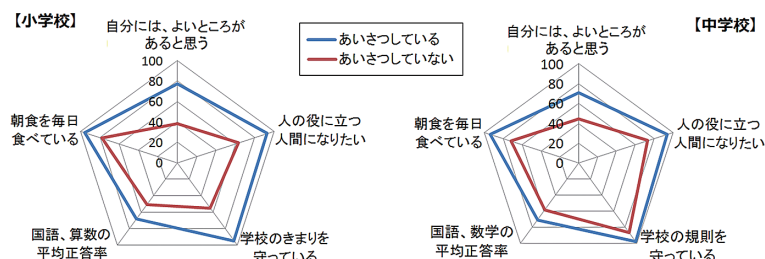


「あいさつ」と自己肯定感などの関連

「学校では、先生にあいさつをしている」と答えた児童生徒ほど、していないと答えた児童生徒に比べて、その他の項目に肯定的に回答しており、平均正答率も高い。



「家の人にあいさつをしている」と答えた児童生徒ほど、していないと答えた児童生徒に比べて、その他の項目に肯定的に回答しており、平均正答率も高い。



(平成27年度奈良県学力・学習状況調査より)

家庭教育は、「すべての教育の出発点」

この手引きでは、家庭での学習習慣の形成について取り上げていますが、それらは基本的な生活習慣をはじめ、幼少時より家庭で行う教育が基盤となります。家庭教育については、「家庭教育啓発リーフレット」、「親学サポートブック」などが次のURLから参照いただけます。

<http://www.pref.nara.jp/24417.htm>



家庭教育7か条

- 1 あいさつをする習慣をつけさせよう
- 2 決めた時刻に寝る習慣をつけさせよう
- 3 身の回りの片付けをする習慣をつけさせよう
- 4 手伝いをする習慣をつけさせよう
- 5 してよいこと、してはいけないことをしっかりと教えよう
- 6 家族で会話をする機会を増やそう
- 7 友だちと外で遊ばせよう



学習習慣の基本は家庭から……

こんなことを家庭でも大切にしましょう

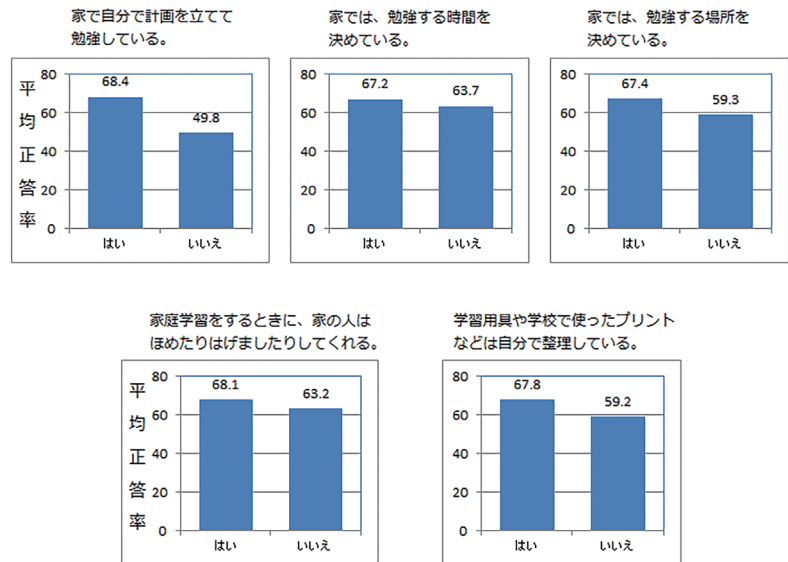
- ①家族や地域の人とのあいさつ
- ②場所を決めて学習
- ③家族との会話
- ④家庭での役割（お手伝い）
- ⑤自分のことは自分で
- ⑥苦手なものも残さず食べる



学校でしていること

- ①友達、先生とのあいさつ
- ②机に向かって学習
- ③友達との話合い
- ④当番活動
- ⑤身の回りの整理整頓や給食の配膳
- ⑥苦手なものも残さず食べる

質問紙調査の回答と学力調査の平均正答率との関連（小学校）



（平成27年度奈良県学力・学習状況調査より）

おんこちしん
温故知新……ふるきをたずねて、新しきを知る
ことわざや格言に学びましょう

石の上にも三年
冷たい石でも三年間
座り続ければ温まるこ
とから、何事にも忍耐
強さが大切だというこ
とです。すぐに結果が
出なくても、あきらめ
ずにやり続けることが
成功につながります。

打たぬ鐘は鳴らぬ
行動を起こしたり、
努力をしたりしなくて
は、よい結果は得られ
ないということですよ。
やってみないと始まら
ないとも言います。と
にかくやってみること
が大切です。

早起きは三文の徳（得）
朝早く起きれば、
健康にもいいし、仕事
や勉強がはかどるので
得をするということだ
す。「早ね、早起き、
朝ご飯」など規則正し
い生活習慣を身につけ
ましょう。

身近な自然や伝統文化、伝統行事にふれてみましょう

奈良県は豊かな自然に恵まれた土地です。また、日本の伝統文化が大切に引き継がれてきた土地でもあります。機会を見つけて、身近な自然や伝統文化にふれたり、行事に参加したりしてみましょう。「百聞は一見にしかず」といいますが、本物にふれることで、本などでは得ることができない貴重な学びが得られるはずですよ。

身近な博物館や美術館などには、小学生・中学生・高校生の入館が無料になる施設もあります。事前に調べて、家族や友達と出かけてみましょう。

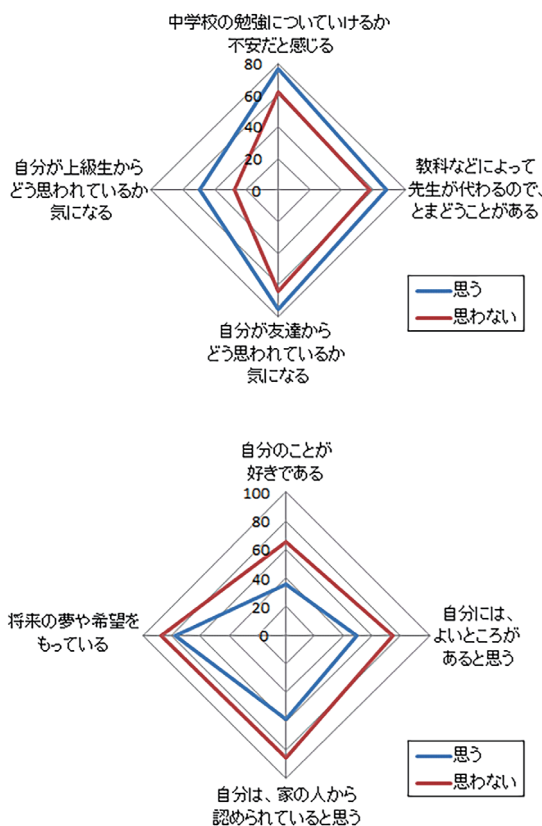
中学校は大人社会への入り口……

中学校へ進学すると、新たに様々な活動が始まります。楽しいことも多い反面、これまでとの違いに戸惑ったり不安になったりすることもあります。こうしたいわゆる「中1ギャップ」が、不登校やいじめの原因となることもあります。

この時期の子どもは自信を失いがちですので、積極的に声をかけ、励ましたり成長を認めたりするなど、自己肯定感を高めるようにすることが大切です。また、気になる様子が見られるときは、早期に学校と連携して対応することも重要です。

思春期は、自立した大人へと成長する入り口です。素直でなくなったり反抗したりすることもあります。伝えるべきことは伝えながら、温かく見守り支えましょう。

「学校に行けない、または、行きたくないと思うことがあるか」という質問とその他の質問との関連（中学校）



「学校に行けない、または、行きたくないと思うことがあるか」という質問に、そう思うと答えた生徒は、そう思わないと答えた生徒に比べて、中学校での生活や学習への戸惑いや不安を感じている。

「学校に行けない、または、行きたくないと思うことがあるか」という質問に、そう思うと答えた生徒は、そう思わないと答えた生徒に比べて、自己肯定感が低い。

(平成27年度奈良県学力・学習状況調査より)

読書は、心の栄養です

本を読むことは、様々な知識を身につけたり、分からないことを調べたりするなど、学習する上でとても重要です。

また、本を読むことを通して、実際にはなかなか体験できない様々な場面に出会うことができます。読書を楽しむことで、読む力や考える力、豊かな心が子どもに自然に育まれていきます。

家庭でもぜひ、読書を楽しみ、読書の習慣を育んでほしいと願っています。この手引きでは、読んでみたい本をいくつか紹介していますが、国語の教科書にも、おすすめの本がたくさん紹介されています。読み聞かせをしたり、身近に本を置いてみたりするなど、家族ぐるみで読書の習慣を大切に、読書を親子のコミュニケーションの一つに位置づけてみませんか。

「寝る子は育つ」といいますが、「本を読む子」も必ず大きく育ちます。

◆国語の教科書に取り上げられた作品の出典図書を紹介している、県立図書情報館のサイトです。

http://www.library.pref.nara.jp/reference/honbako/textbook_elementary.html



http://www.library.pref.nara.jp/reference/honbako/textbook_junior.html



考える力を高める小学4年生

学習時間のめやす

40分以上

この時期の特徴

- ・いろいろなことに興味をもち、行動の範囲が広がります。
 - ・仲間をつくって行動することを好み、口答えすることが増えてきます。
 - ・自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。
-
- ・国語では新出漢字や辞典の使い方、算数では概数や角の大きさ、面積など、新しく学ぶ内容が多くなります。
 - ・実験・観察や調べ学習など、友達と協力して学習する機会が増えます。



●家庭で大切にしたいこと●

学習する場所や時刻、時間を決めましょう。

- ・話し合って一緒に決め、守れるよう根気よく声かけをしましょう。
- ・テレビを見たりゲームをしたりする時間も話し合って決めましょう。

励ましの言葉をかけましょう。

- ・できたことは小さなことでも見逃さずにほめましょう。
- ・分からないところは一緒に考えるようにしましょう。

宿題以外にも、さまざまな学習に取り組みましょう。

- ・親子で読書をしたり、新聞記事や地域のニュースなどを積極的に話題にしたりしましょう。
- ・家庭での役割を決めて取り組めるようにしましょう。

●こんなことをしてみましょう●

国語では…

- ・日ごろのできごとや、心に残ったことを日記に残しましょう。
- ・漢字などの練習は、筆順に気をつけ、ていねいに書きましょう。
- ・分からない言葉や漢字は、進んで辞典で調べましょう。
- ・音読練習では、場面の様子や登場人物の気持ちなどが伝わるように工夫し、家の人に聞いてもらいましょう。
- ・名前や住所など、いろいろな言葉を3年生で習ったローマ字で書いてみましょう。

算数では…

- ・筆算は位をそろえ、手順を確かめながら落ち着いて計算しましょう。
- ・分からないところは、教科書やノートを見て確認しましょう。
- ・分数の学習では、分数の意味や表し方についても理解できるようにしましょう。

そのほかにも…

- ・興味のあることを自分で調べてみましょう。学校図書館や、地域の図書館にある本なども活用してみましょう。

進んで本を読みましょう！

- ・決まった曜日に読書する時間をつくりましょう。読んだ本の感想を「読書ノート」にまとめてみましょう。
- ・こんな本を読んでみましょう。この作者のほかの本も探して読んでみましょう。
「車のいろは空のいろ」
：あまんきみこ
「龍の子太郎」
：松谷みよ子
「銀河鉄道の夜」
：宮沢賢治
「魔女の宅急便」
：角野栄子

自ら学ぶ習慣をつくる小学5・6年生

学習時間のめやす

60分以上

この時期の特徴

- ・抽象的、論理的に考えることができるようになります。
 - ・自分が大切にされているか、認められているかなど、周りの評価が気になり、友達の言動や大人の対応に敏感になります。
 - ・自分を客観的に見つめられるようになるとともに、周囲に対して自分の考えを主張するようになってきます。
-
- ・自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）が多くなります。
 - ・学習内容がさらに多くなるとともに、小学校の学習のまとめをして、中学校につなげる大切な時期です。



●家庭で大切にしたいこと●

学習する場所や時刻、時間を決めましょう。

- ・やりたいことと、やらなければならないことについて家庭で話し合い、自主性を尊重して学習の計画をさせましょう。
- ・生活リズムを見直し、時間を大切に作る意識を育てましょう。

やる気を育てましょう。

- ・親子で会話する時間を大切に、小さなことでもほめ、成長を認めましょう。
- ・様々なことに挑戦させ、できなくてもがんばる過程を温かく見守り、励ましましょう。

学びが深まるようにしましょう。

- ・新聞記事を話題にしたり、読んだ本について親子で話し合ったりするなど、幅広い興味や豊かな心を育みましょう。
- ・夢について話すなど、目標をもって学習できるようにしましょう。

●こんなことをしてみよう●

国語では…

- ・詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。また、音読は他の教科等でも、用語や内容の理解に役立ちます。
- ・学習した漢字や言葉を使って、俳句や短歌、詩をつくったり文章を書いたりしてみましょう。
- ・自分の気持ちや考えを整理しながら、心に残ったできごとなどを日記として残しましょう。
- ・文章を書くときは、辞典を使いながら、できるだけ漢字を使って書きましょう。

算数では…

- ・計算練習に毎日ねばり強く取り組みましょう。
- ・教科書の問題を、もう一度ノートに書いて解くなど、習ったことをその日のうちに復習しましょう。
- ・間違った問題は、なぜ間違えたのか振り返り、くり返し練習しましょう。

そのほかにも…

- ・新聞などを読んで、興味をもった記事を切り抜いて集めてみましょう。

読書の習慣をつけましょう！

- ・読んだ本の感想を「読書ノート」にまとめたり、おうちの人と感想等を話し合ったりしましょう。
- ・こんな本を読んでみましょう。この作者のほかの本も探して読んでみましょう。
「ライオンと魔女」
：C.S.ルイス
「チョコレート工場の秘密」
：ロアルド・ダール
「きまぐれロボット」
：星新一
「ルドルフとイッパイアッテナ」
：斎藤洋

自分を磨く中学1・2年生

学習時間のめやす
90分以上

この時期の特徴

- ・部活動などで経験する縦の人間関係によって、礼儀を身につける反面、ストレスを感じやすくなります。
 - ・他人の目を意識し、目立つことを嫌い、無理に周りに合わせようとしま
 - す。
 - ・友達の影響を強く受けるようになり、大人に対して反抗的になりがちで
 - す。
-
- ・学習内容が高度になり、授業も教科担任制になるので、教科ごとに教員
 - がかわることに戸惑ったり、得意・不得意ができやすくなったりします。
 - ・定期テストが行われるようになり、学習（復習）の範囲が広く、学習方
 - 法に悩みます。テストの結果によってやる気を出したり、逆になくな
 - りすることもあります。



●家庭で大切にしたいこと●

学習環境を整え、自分に合った学習習慣や方法を身につけさせましょう。

- ・学習の基本は学校の授業です。授業を大切にして、その定着のための復習を家庭学習の基本とさせましょう。
- ・限られた時間を有効に使えるよう、目標をもち、短時間に集中して学習する方法を話し合ったりアドバイスしたりしましょう。
- ・部屋や机の上などは常に整頓するなど、学習への切り替えがすぐに行えるように考えさせましょう。

子どもの成長を見守りましょう。

- ・心身ともに、急速に成長する時期です。小さな変化を見逃さず、子どもの成長を認めましょう。
- ・学ぶことの意味や学び続けることの大切さについて話す機会をもちましょう。

●こんなことをしてみましょう●

国語では…

- ・漢字などはこまめに復習して覚えましょう。意味の分からない語句は辞典で調べましょう。
- ・テーマや構成を決めて、文章を書く練習をしましょう。

外国語では…

- ・習った語句や基本文は、繰り返しノートに書いて覚えましょう。
- ・教科書の本文は、声に出して繰り返し読みましょう。
- ・ラジオ等の英語講座を毎日聞いてみましょう。

数学では…

- ・計算問題では、必ず途中の式を書き、確実にこなせるようにしましょう。
- ・考え方などを、図で表すようにしましょう。
- ・教科書の問題を、もう一度解いたり、問題集などで類似の問題を解いたりしましょう。

定期テストでは…

- ・無理のない学習計画を立てて取り組みましょう。そのためには早めに取り組むことが大切です。
- ・授業でのノートやプリントなどをもとに、自分なりにもう一度まとめてみましょう。

読書の幅を広げましょう！

- ・読んだ本の感想を「読書ノート」にまとめたり、友達と紹介し合ったりしましょう。
 - ・視野を広げるためにも、いろいろなジャンルの本を読んでみましょう。
- 「弟の戦争」
：ロバート・ウェストール
「川の光」：松浦寿輝
「博物館へ行こう」：木下史青
「ガラスのうさぎ」：高木敏子
「山椒魚」：井伏鱒二
「夢を跳ぶ」：佐藤真海

自己実現に向かう中学3年生

学習時間のめやす

120分以上

この時期の特徴

- ・進学などの進路決定を控え、「やらなくては」と分かっている、思うようにならない自分にいらだつなど、気持ちが不安定になりやすい時期です。
 - ・実力テスト等の結果に一喜一憂し、優越感と劣等感の間で揺れやすく、反抗的な言動や態度をとりがちです。
-
- ・3年生の学習に加えて、1・2年生の内容の復習も必要となるので、家庭で計画を立てて学習することがこれまで以上に重要になります。
 - ・将来を見据えた目標をもつことが大切になります。学校では、その目標に向けた進路を選択するための進路相談なども行われます。



●家庭で大切にしたいこと●

計画的に時間を使いましょう。

- ・部活動をしなくなり、放課後などの自由な時間が増えると、時間を計画的に使うことがより大切になります。集中して学習に取り組めるように、趣味や気分転換の時間をつくるなど、自分に合った学習スタイルを身につけさせましょう。
- ・スマホ等の利用については家庭でルールを決め、睡眠時間を確保するなど、時間の使い方を考えさせましょう。
- ・学習したことを定着させるためには、何度も繰り返し学習することが重要です。まとめ方を工夫するなど、自分の経験談も交え、継続することの大切さを伝えましょう。

会話を大切にしましょう。

- ・家族の支えがとても大切になる時期です。食事のときなど、会話の時間をできるだけつくり、いろいろなことを話すようにしましょう。
- ・落ち着いて学習できる環境づくりに努めましょう。

●こんなことをしてみましょう●

苦手克服にこそ時間を割きましょう！

- ・苦手な教科こそ繰り返し取り組んで、苦手克服するようにしましょう。得意な友達や先生にアドバイスを求めると、克服のヒントが見つかるものです。

あきらめず継続しましょう！

- ・授業などで学習したことは、復習することによって定着させましょう。復習は、学んだ直後の方が学習内容の定着に対する効果が高いと言われています。また、繰り返し復習することで、忘れる量が減り、長く記憶することができます。

長期の休業では…

- ・夏休み中は1・2年生の学習内容を復習する絶好の機会です。計画的に復習に取り組みましょう。
- ・冬休みは、進路の目標が明確になっている時期です。進路に応じた学習方法を工夫して取り組みましょう。

心に残る一冊を！

- ・読書は、学習の気分転換だけでなく、不安や悩みの解消につながったり、新たな考えや発見があったりするなど、今だけではなくこれからの人生を豊かに生きることにともなわれます。いろいろな本を読んでみましょう。

「旅に出よう」：近藤雄生

「沈黙」：村上春樹

「竜馬がゆく」：司馬遼太郎

「舟を編む」：三浦しをん

「素数ゼミの謎」：吉村仁

「14歳からの哲学」：池田晶子

「老人と海」：アーネスト・ヘミングウェイ